



## ▼ 23回花びしカップ臥牛山

### オープンヨットレース

去る9月15日(日) 南北海道外洋帆走協会メインイベント、恒例の花びしカップが20艇の参加で開催された。IRCも東北北海道では今期最高の9艇の参戦。室蘭からオーシャンボーイ、大湊から今年トランスパックで見事クラス2位の貴帆様も登場した。コンディションについてはスタート直前風弱く心配したが徐々に風も上がり全体的には強弱はあるもののまずまずの展開。

大型艇がややポジションで右往左往してる間に小型艇も先頭集団へ滑り込んだ。上マークの回航までは勸進丸もすばらしいポジションだったが、風が安定した時点でトップ回航の貴帆様が海面を嘗めるように滑って行く。一気に大型艇がブローに翻弄されながらも次々とフィニッシュへ!

結果は最後まで全力を出しきったのかどうか不明ではあるが優勝が小芝艇長率いるコンコルディア、2位には昨年優勝のナナが3位には室蘭より参戦のオーシャンボーイが入った。今年の青函カップヨットレースより多い今回のレースは90名もの参加で大いに盛り上がったのは言うまでもないが、貴帆様艇長の北田さんの「楽しいですねー」とぼつり外洋帆走協会の団結のすごさに、うらやましいかのような感想が印象的であった。

## ▼ 海を愛するタモリの

### 日本一ヨットレースタモリカップ横浜

2013

### 参戦道中記8月31日から2日

ひょいとした話しから「いぐがー」即決にて参戦決定!当初D-ブロスと小樽、帯広メンバーが既に参戦決定していたが函館チームも井口・前田・石川兄弟も迷うことなく即座に決断フライトリザーブ。

公式ホームページを開く事に参加者がうなぎのぼり!結局は197艇を数えるまでに膨れ上がりその人氣が伺い知れる。函館参戦で外洋帆走協会のユニホームも新調しいよいよ!と興奮していたが、前日に思いもよらぬ情報が!体全体の力が抜けた……

「レース中止」何とか台風がそれて絶好のコンディションであるかのように思われたが、後から聞いた話では200もの外来艇が強風の中マリナー内に係留誘導するのが不可能な状態だったとか……、気持ちを切り替えてそれでも何とか天候はもつようなのでレース以外の最大のお楽しみ前夜祭を楽しみに一路いや空路横浜ベイサイドマリナーへ直行。一足お先に井口さんが今回お世話になったD-ブロス新メンバーの塘内さん(ヨットレディーホーク)のヨットに行っておりガイドをお願いする。

ベイサイドマリナー(ホームページ参照)は一言で言うと生まれて初めての驚き!と言う感じの規模で特にメガクルーザーの艇数が多いこと。「すっげー」と心の中で叫びながら塘内さん所有のヨットへ……

気温34℃の中、艇内はギンギンに効いてるエアコンがなんともうれしい、ウエルカムドリンクと今回一緒に過ごす事になった女の子とも名刺交換、除々に日

も傾きかけ前夜祭が艇から歩いて3分程度の所でスタンバイ状態、我々も団を組んで直行、200艇近くのオーナークルーの他に飛び入り参加も含め1000名はくだらないだろう、スポンサーの数も半端でなくその華麗さ豪華さはお見事であった。参加者の顔ぶれも皆真っ黒に日焼けした海の男・女と言う感じ……酒が進むにつれその勢いは増すばかり、JSAFの児玉常務の友人でもある塘内さんの紹介で山崎名誉会長、河村会長が御挨拶に訪れ早速記念写真を、

内田恭子の司会と共にすぎちゃんも飛び入り恒例のオルケスタデラルスのラテンバンドとタモリの登場で一気に会場は大興奮に包まれ夜は更けた。後から塘内さんから聞いたのだが函館の文字入りユニホーム着用であちらこちらから声をかけられたとか。

次の日は塘内さんの計らいにてレディーホークで横浜山下公園の近くの横浜クルージングクラブに隣接している横浜ベイホールへ昼食を摂りにクルージング、楽しいひと時を過ごした。帰着後はマリナー横にあるショッピングモール(アウトレット)のその数と品物の豊富さにこれまたびっくり!海に似合うアイテムが山のように……。 (一度は行った方がいいかも!!!)

3日目は4人で浅草、麒麟麦酒本社のスカイラウンジ、スカイツリーを見学、スカイツリーのエレベーターの早さにはさすが日本の技術の高さに認識を新たにした。昼飯と言う事で浅草の浅草寺入り口の横にあるときわ食堂は前田さんが40年前最初にバイトした所だとかで昼食休憩を……。

てな訳で来年も再チャレンジする事で共に改めて確認を確認しこの夏のもう一つの思い出が幕を引いた。

## 沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海

Vol 10

いよいよ最終レグ沖縄からおよそ3ヶ月 函館に帰函<マイウェイ>航海最終章

7月17日(日) 曇り時々晴れ 戸賀港→青森県 深浦港

04:30起床。05:30出港。南西後西後北西の風4~7メートル。風向が時計回りにシフトしていく中、久しぶりの帆走を楽しむ。ただ、西から波が来るためローリングが大きい。秋田、青森の県境の辺りで<キャプテン・パパ>とすれちがう。残念ながら手を振っても見えるほど近くはない。シーガルネット、オケラネットとも感度が非常に良い。深浦港手前で定置網に突っ込みそうになりタッキングでかわす。ちょっとばかり岸に近づき過ぎていたようだ。危ない、危ない。入港と同時に花火が上がった。絶対に我々のためではないと思っていてもいい気分だ。入港してみるとなんと今日は深浦町のお祭りなのだ。北前舟<みちのく丸>も入港中。隣に槍着けする。<みちのく丸>の見学とお祭りに来た人でいつもは静かな岸壁もごったがえしている。お祭りの出店で焼きホッケとオデンを買い案着祝いだ。夜は花火大会。<マイウェイ>の目の前から花火が上がる。おそらく航海最後の夜になるだろう。花火を見ながらこの夜を大事にしたいと思った。